



生きる

人に永遠（とわ）の生命なく
人生を一瞬の時として
今を一生懸命に生きる

コツコツと積み重ねしも
放蕩の限りを尽くしても
その時は、等しく失われゆく

星の元には
正義も悪も、善意も悪意も変わりはなく
天も地もなく
何億光年の彼方も
あるいは直ぐ側にありても、やはり変わりはない

見えるものも見えなきものも全ては等しく
その時は降りてくる

ならば
想いのままに
こころのままに
魂に正直に生きる

美しい花に手を差し伸べ、美しいといい
かわいいものには、ほお擦りをする
自らを秤にかけたり、立ち居地を確認することなく

綺麗な女（ひと）に綺麗といい
ただただ、魂に正直に忠実に生きる

コツコツと営々と築きしも
それが正義でも善意であろうとも

失うときは一瞬

人に永遠（とわ）の生命なく
人生を一瞬の時として
今を一生懸命に生きる

愛しき者に愛しいと語り
人生の全てを
今という一瞬に命の限りを尽くす

生きる（3 1 1 から）

<http://p.booklog.jp/book/50400>

著者 : shuhou

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/shuhou/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/50400>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/50400>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.